



議会だより

No.23

発行責任者：南魚沼市議会議長 若井達男

編集：議会広報編集特別委員会

- 6月定例会の傍聴者 **85人** (延べ) でした



議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索

塩沢まつり「踊り屋台」

6月議会で決まったこと 一般会計補正予算、消防庁舎等の工事契約議決……………	2 ページ
質疑応答 補正予算、工事契約等質疑……………	3 ページ
市長所信表明……………	4 ページ
一般質問 20名が市政を質す……………	5～14 ページ
政務調査費報告 各会派の1年間の活動……………	15 ページ
こちら常任委員会です……………	16～17 ページ
第1回臨時会、6月議会全議決結果……………	18～19 ページ
県内体育施設を見てきました……………	20 ページ

1億6,752万円追加し、 総額301億6,252万円となる。

(万円未満切捨)



負担付寄附で受け入れたJA魚沼みなみ六日町支店ビル

【歳入】

- ・地方道路交付税……………3,629万円
- ・地域住宅交付税……………2,250万円
- ・新潟県緊急地域雇用創出特別基金事業
 県補助金……………1,419万円
- ・前年度純繰越金……………5,511万円
- ・市 債……………2,030万円

【歳出】

- ・庁舎整備事業費……………1,180万円
- ・賦課徴収管理費……………2,612万円
- ・乳児・子ども医療費助成事業費……………1,624万円
- ・予防対策事業費……………4,660万円
- ・地方道路交付金事業費……………2,300万円

子ども医療費助成が 9月から小学校卒業までに拡大

新潟県は9月から乳児・子ども医療費助成の枠を今までは通院が小学3年生までであったが、それを小学校卒業までに広げます。(入院は現在も6年生まで助成)しかし、これは第3子以降であり、市がこれに該当しない第1子、第2子を単独助成します。

JA魚沼みなみ六日町支店建物を 負担付で寄附受け入れ

市は組織機能の本庁舎集約に向けて進めています。本庁舎隣のJA魚沼みなみ六日町支店建物を負担付き寄附で受け入れを決定しました。

この建物は耐震補強工事を実施後にエレベーターを設置し、市の農林課、商工観光課、農業委員会、家畜指導診療所が移転予定です。また、1階部分はJAが希望する間、JAに賃貸します。(この部分が負担付です)

契約を 議決しました

浦佐子ども園建設(建築)工事契約

- ・井口・島田・桐生特定共同企業体
- ・契約金額 3億6,844万円
- ・工 期 平成23年3月15日

消防庁舎建設(建築)工事契約

- ・高橋・島田・森下特定共同企業体
- ・契約金額 5億5,965万円
- ・工 期 平成24年12月20日

平成21年度事業年度期末残高

資産区分	面積	用地費	支払利息 他	計
野世ヶ原公共用地	43,747	200,078,914	124,230,151	324,309,065
下薬師堂公共用地	3,696	36,328,216	25,897,707	62,225,923
長森総合野外運動広場用地	91,865	298,549,412	145,264,139	443,813,551
六日町郵便局跡地用地	1,021	163,295,829	35,005,027	198,300,856
水無原公共用地	11,960	83,504,213	38,841,693	122,345,906
天王町公共用地	5,064	95,481,272	23,742,034	119,223,306
合 計	157,353	877,237,856	392,980,751	1,270,218,607

※面積は小数点以下切捨

(単位：㎡、円)

土地開発公社経営状況 説明書類から

計画事業推進のため、土地開発公社で先行取得した用地が、その後の計画変更でそのまま残り、毎年利息が上乘せられている土地があります。(左表)今議会で市長は、これを任期中に解消したい旨を表明しました。

質疑応答

平成22年度
一般会計補正予算(第2号)

質疑

子宮頸がん予防ワクチン接種はどのように行うのか。集団接種ではないのか。

答弁

中学1〜3年生の希望者がそれぞれ指定の病院へ行き、無料で接種する形である。保護者や生徒への説明が終了次第ではあるが、7月のできるだけ早い時期に1回目の接種ができるよう進めている。集団接種ではない。

質疑

子宮頸がん予防ワクチン接種は、併せて児童生徒へ風紀の指導をする良い機会だと思ふ。具体的な指導、啓発方法はあるか。

答弁

非常に微妙なところであるので、市の保健師と学校の養護教諭が連携して正しい知識を普及していきたい。

保護者向けの説明は市の保健師が行い、生徒一人ひとりのフォローは養護教諭がしっかりと行う必要があるだろう。

質疑

当初予算にはない項目である観光客業務委託料については、牧之通りの関連でNPOに委託するとのことだが詳しく説明を。

答弁

窓口を越後湯沢駅に設け、2人雇用を図りたい。主な仕事は牧之通りの案内業務のほか、市全体の観光案内まで網羅した形で行うと考えている。外国人向けのパンフレットも作り、PRしたい。

質疑

J Aビルの改修工事は今年度に行うのか。土地部分についてはJ Aから借りる形となるのか。

答弁

現段階ではどの程度の工

事になるかはつきりしていない。年度中に工事完成をしたという考えは持っているが、調査設計をしてみないとわからない。J Aは土地については売却しないという事なので、賃借していく。

質疑

消防団の車にはFMラジオが付いていない。市民と情報を共有することは重要だ。防災ラジオについてどのように考えているか。

答弁

これからはポンプ車の仕様にFMを入れる予定である。FMゆきぐにの76・2MHzを防災波として利用するというコマーションルをしていく。

質疑

一般的に予定価格は公表されているが、最低制限価格は公表できないか。

答弁

最低制限価格は設けているが、何%だということは

申し上げられない。落札率が低ければ入札制度改革の成果があったということにはならない。

質疑

落札率98・46%は妥当と考えているか。業者には大変な数字ではないか。

答弁

適当かどうかは申し上げることはないが、設計額に相当近いのでそれはそれで結構と思う。

質疑

エレベーターがない理由は、また、バリアフリー対応になっているか。

答弁

荷物用のエレベーターは裏側に1基ある。車椅子対応の玄関入口となっているためバリアフリー対応となっており、人送用のエレベーターは必要ない。

質疑

浦佐こども園建設(建築)工事に関する質疑応答

質疑

入札を辞退する業者が多く出たのはなぜか。

答弁

設計業者があげた価格では取れる自信がないという理由が大きかったようだ。設計業者と企業体で食い違いがあつたと思われる。

質疑

施設は丸みがあり建設は大変かと思うが、地元建設業者は入れるのか。地元経済活性化につながるため、地元業者を優先的に使つてほしい。

答弁

地元建設業者が入れないことはない。特殊加工部分についてはできえないが、相当部分は下請けに出せば地元業者で対応していけると思う。木工事については地元業者を使うようにと企業体に伝え、その方向で検討するという回答をいただいた。

質疑

設計コンペということだが、想定する工事費はいくらだったか。

答弁

市内業者12社を指名、内7社辞退、5社の設計コンペであった。想定工事費は

3億8千万円程度と提示した。その他、学童保育の設置、ペレットボイラーの採用、地場の木材の使用等の上乗せを含め、建物全体で5億3,634万4千円と予算計上した。

質疑

こども園と消防庁舎の設計は同じ設計事務所によるものだ。これほど大きな事業を2件受け持つとなると、設計監理をしながら建設していくことに懸念はないか。そう大きな設計会社ではないか。

答弁

協力業者をまとめながら進めれば、大きな物件2件でもできる範囲と思っている。設計事務所を監理しながらやっていきたい。

質疑

建物を造るにあたって、ハートビル法やユニバーサルデザインを取り入れてもらいたい。

答弁

全てバリアフリーとなっており、開口部も広く設計している。

市長所信表明

(抜粋)



3月定例会以降の政策大綱別に経過等についてご報告申し上げます。

保健・医療・福祉

本年度から子宮頸がん予防ワクチン接種助成について、中学1年生の女子を対象に事業を推進し、今年度に限り中学2・3年生の女子についても同様に助成します。

市内で初めてとなる地域密着型小規模特別養護老人ホームが、4月に坂戸市内にオープンしました。また、認知症高齢者グループホーム2施設と小規模多機能型居宅介護事業所1施設については、

開設を目指して設置事業者で準備を進めています。

教育・文化

学区再編への取組みについては、昨年度から説明会を開催し、今年度は範囲を保育園保護者、行政区長へ広げて実施しています。また、城内、大巻、五十沢の三中学校区と上田地区については、各集落への個別説明、意見交換会を計画しています。

環境共生

当市の課題である地盤沈下対策等に対応するため、地下水熱を利用した屋根融雪・冷暖房住宅を建設し実証実験を行うとともに、太陽光発電、小型風力発電も併せて設置

し、豪雪地での耐久性・有効性等を検証します。

都市基盤

国道17号六日町及び浦佐バイパス、並びに国道253号八箇峠道路の直轄道路整備については大幅な事業費の削減となっており、今後、事業の促進に向けて更に国に働きかけていきたいと考えています。

産業振興

農業関係では生産数量目標が、昨年より526トン減の2万2,427トンで配分され、昨年に引き続き佐賀県との県間調整が成立しました。昨年度の市内全体の観光客入込み数は、天地人関連が好調であったことから対前年度比34%増の468万1,000人でした。

「戦国EXPO」は、

5月8日に入場者数1万人を達成しました。また商工会青年部を核に取り組んだ「南魚沼グルメマラソン」は、全国から3,270名の参加申込みがありました。

行財政改革・市民参画

大原運動公園整備事業については、5月27日付で検討委員会から諮問に対する答申がありました。

市はこの答申を踏まえ、9月議会に基本設計の予算を提案すべく内部の基本方針を固めたいと考えます。なお、基本構想中間答申案のパブリックコメントについては、17名の方から貴重なご意見を頂戴しました。また、市民有志から19、212名の反対署名が提出されたのでこれらも踏まえ、将来を見据えた市としての基本方針を考えます。

意見書に関係機関に提出しました

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書

国道17号六日町バイパス及び浦佐バイパスの事業費増額を求める意見書



概要については19ページをご覧ください。

里山の森林整備のため国土調査を

答 山の国土調査は時間がかかるが力入れる



小澤 実 議員

当市は山林面積3万9137ha、率にして67%である。「薪」が山から切り出されなくなると50年くらい経つ。限りある

化石燃料にほぼ100%頼る現状の中、地球環境も踏まえ森林資源に着目する時期だ。里山荒廃は隣接畑の野菜・果樹が鳥獣の餌となり年々頭数が増加し、人的被害も出ている。山の境界を明示し、管理を容易にするため国土調査を。

市長

北信越国土調査協議会の会長をしている。国土地理院で面積は把握している今、森林環境税（都

会人から徴収し地方に分配する税が議論されている）が交付される場合、民地にも出る訳なので面積の確定が必要となる。国調は時間かかるが力を入れる。作物被害対策では調査をしているし、電気柵が本年3カ所設置される計画。

小澤 休診による、病院、健友会への影響は

市長

人間ドック、協会健保子宮ガン検診等で6、250万円ほどの減収見込み。6月より週1回外来診療を再開した。宮永院長と協力し婦人科医の確保に努力している。



ヒブワクチン 予防接種に公費助成を

答 実施に向けて検討する



中沢 一博 議員

ワクチンで救える命がある。乳幼児に重い細菌性髄膜炎はヒブ菌によって引き起こされる。これは小児科の先生が最も恐

れる病気とも言われ、国内では毎年約千人の子どもが発症し、そのうち5%が亡くなり、4人に1人が後遺症で苦しんでいる。ヒブワクチン後進国の日本は20年遅れて一昨年12月ようやく接種が可能となった。一回の費用は7千円〜8千円程度で、必要とされる4回分の接種費用は約3万円と高額となるため、公費助成を求めるが。

市長

医師会の皆さんと検討した中で、実施に向けて検討する。

就活応援基金の創設について

中沢

新年度を迎えたものの就職未定の新卒者が20万人とも推計されている。政府を挙げて雇用の確保のための成長戦略をはじめ、経済対策、雇用支援など全面的に手を打つべ

市長

現在の雇用情勢は依然として厳しい。その中で就活する費用負担をどう公費で支援していくか。奨学金制度を活用し貸与が可能か検討させてもらいたい。



各種負担金の見直しを 図れ

答 受益者負担金見直しを検討



牛木 芳雄 議員

新潟県は建設事業の一部を負担させる「市町村負担金」の見直しを行った。原則廃止とのことだ。現在、市では建設事業

等に「受益者負担金」を課しているが、県と同様に廃止してはどうか。

市長

受益者負担金が全てなくなっているとは思われない。道路改良や舗装、消雪パイプ等、関係者は生活の利便性が高まるので一定の負担金があつてしかるべきだ。

しかし、国、県では廃止ということになると、市の理論だけで継続していくことは適当でない。

市としても見直しをしていこうと検討している。

**菅内閣に
何を期待する**

牛木

菅内閣が発足した。前鳩山内閣は「政治とカネ」「普天間基地移設問題」によりわずか8カ月で幕を閉じ、国民の期待にこたえることができなかった。菅内閣に何を期待するか。

菅内閣は消費税の見直しと財政の健全化を言っている。国からの享受ばかりではなく国民の負担についても言及している。できるかできないかは分からないが、気概を持っていることに期待する。地方分権に力を入れることにも期待している。

今泉観光交流拠点施設 どう活かしていくか

答 まず道の駅認定と基本設計委託の発注を急ぐ



林 茂男 議員

① ドッグランの継続設置を望む声が多いが。
② 川の観光資源化へ漁協も検討メンバーに。
③ 公設民営。『駅長』の

卓越した運営能力とセンスが求められる。

④ 3大スキー場の中心点に位置。地元観光協会です。今季、首都圏からのツアーバスを独自運行しようという機運がある。そのターミナル地に。また事業に支援を。

⑤ 多機能化の観点から将来の保育園統合先や公園を有する子育て施設等、市民生活の拠点に。

市長

① 好評であり集客手段の

一つと認識しているが、

食品を扱う施設ができることから、衛生面を懸念。別の場所での継続を検討提案願いたい。

② 具体的検討段階で参加を求めていく。
③ 慎重かつ大胆な人選を考えた。農協も本格的に協議を進めている。
④ 市としても極力応援していきたい。
⑤ 一理あるが、全て持ち込むことは無理。

**旧塩沢の国際交流
史と経験を活かせ**

林

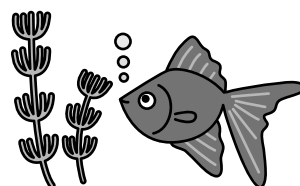
市の中学生海外派遣事業に、旧塩沢町の経験が生かされておらず残念だ。基金面、交流史を重視し、今後、派遣先について一考すべきだ。

教育長

ようやく米国との交流の輪がはじまった。しばらく続けたい。その後は検討したい。



観光交流拠点が予定されている今泉博物館



スポーツ振興基本計画と運動公園整備は

答 市民への説明を重視して

腰越 晃 議員

- ①「スポーツ都市宣言」と「スポーツ振興基本計画」の策定は。
- ②予定される整備費用は。
- ③今後の施設の基本計画

等、市民への説明をどのように進めるか。

市長

①総合計画の「地域の豊かな自然環境や立地条件等を活かした施設整備を行い、スポーツを通して市民の健康維持・増進、家族とのふれあいや仲間との交流を広げ、生活の豊かさを持つ総合運動公園整備を進める」との基本部分に基づいて進める。

スポーツ振興の基本計画は、今年度から「スポーツ振興審議会」に諮りながら進めていく。まず平成23年度末を目標に「スポーツ都市宣言」を策定する。

市長

②テニスコート付帯施設整備、サッカーコート、野球場を含めた総額整備費用を、16億1千万円と試算している。
③きちんとした方向性を示す時に、建設に賛成の方々、反対の方々に

対してしっかりと説明し、納得して頂くよう進めたい。建設を断念する場合はその理由を、建設を進める場合は財政も含めて説明していく。

1万9、212名の署名をどう受けとめる

答 重く受けとめるが、中止という判断には至らない

寺口友彦 議員

「ちよつと待て。野球場」建設中止を求める市民の会」より1万9、212名の署名が出された。市民運動として評価すべ

きた。総合計画に対する市民の疑問が大きいのが数字に表れた。応援も、つらい言葉も受けながら、この数字が出た意味は大きい。

市長

1万9、212という数字は重いが、数によって判断することはない。9月議会に基本設計予算をつけて、積算をした上で判断をする。いずれにしても説明する。

上の高原体育館をバレーボール道場に

寺口

4千万円以上をかけて整備をした上の原体育館をFIVB公認アカデミーの協力のもとで中学生のバレーボール道場にして活用すべきだ。社会人のチームなども指導して社会体育に活かせ。

市長

八海高校へは毎日指導に行っている。7月から

公募し市内の小3〜小6のジュニアチームを作り指導してもらう。21年は家賃をもらえなかったが、22年以降回収のメドが立っている。アカデミーが本格活動を始めると市民への協力ができなくなるが、できるだけ協力してもらおうよう働きかける。



上の原のFIVBバレーボールアカデミー体育館



サッカーコート整備予定の多目的グラウンド

「魚沼荘」の建替えは 長森運動公園に

答 候補地の一つ



岡村雅夫 議員

土地開発公社の、目的を失った塩漬け土地を放置せず、市民の財産として活用せよ。養護老人ホームの建替えが検討さ

れているが、長森運動公園用地を利用できないか。当初の取得目的により、

グラウンドゴルフ場、ゲートボール場、芝生・花広場、散策・ジョギングコース等の整備をし、「魚沼荘」や市民との交流の場となるよう、市民との協働で計画できないか。

市長

簿価12億円に年間600万円の利息は負の遺産だ。私の任期中に市で買取り市民の財産として活

用したい。候補地の一つと考える。

政治信条の披露は 野球場建設推進か

岡村

市長は所信表明で「検討委員会の答申とパブリックコメントと19、212筆の反対署名を踏まえ、9月に調査設計費を提案すべく方針を固めた」と述べ、結びで「何事にも前向きに自分の信

じたことを、決して怯ま^{ひる}ずに勇気を持って進めば道は開ける。」と信条を披露したが、建設推進が過去に調査設計費を計上し断念したことはないが、

広く意見を求め判断すべきだ。署名は重い。庁内の意見集約も大事だ。

市長

曲解だ。推進が前提だが、署名の重みも考え判断したい。野球場や図書館は、意見の多寡で決めるものでない。

市内JA合併を うながせ

答 市の発展のためにも
合併は大切だ



関 常幸 議員

魚沼コシヒカリを核とした更なる発展・産地の強固な地盤確立のためにも、JAしおさわとJA魚沼みなみの合併は不可

欠で、平成18年12月の一般質問でも取りあげた。

米を始めとする農産物は海外からの輸入・JA間競争とますます厳しく、激しい産地の生き残りになることは必至だ。

今後は地産地消を柱に農業と観光が一体となった取組み、農商工連携の6次産業化で地域経済を興こす。そして、新しい販売戦略（米の輸出等）を構築するためにも合併は不可欠だ。

六日町と大和町の合併

から10年を経た今日、今一度仕切り直し、市長からの働きかけが必要と思うが。

市長

地域経済、行政にとっても、また、JAの事業発展のためにも合併は不可欠だ。市が主導というわけにはいかないが打診はしてみたい。

戸別所得補償対策

関

この制度は先進国中最低の自給率を50%に向上させ、農業と地域を再生させると言っている。本当に将来に明るい展望が持てる施策なのか。

市長

所得を補償するということで否定する施策ではないが、この施策は全国一律で、魚沼コシヒカリの私どもの地域にはメリットは少なく、不満もあり不安である。



水無河川敷のグラウンドゴルフ場

街なか再生のプランを

答 まずは分析把握して進める



佐藤 剛 議員

駅前商店街の衰退は全国的問題であり当市も同様元気がない。そういう中、ウオロクが市民会館駐車場に進出申請を出し

た。

これは人の流れを市街地に戻し、賑わいの復活という期待もあるが、ウオロク進出での消費が、

地元商店の販売額を喰うとなれば、共存共栄は難しく、更に疲弊に繋がる。この進出申請をどうするにせよ、この市街地活性化の基本コンセプトがな

ければ、どっちを選択しても衰退の一途だ。国も街なか再生を支援する中で、新図書館等都

市機能を中心市街地へ集約させ賑わいのあるコンパクトなまちづくりを計画的に進める必要がある。

市長

ウオロク進出の商店への影響はわからないが熟慮する。中心市街地の活性化は都市機能の集約を含め、分析把握し進める。

格差のない情報通信整備を

佐藤

後山、辻又の無線ブロードバンドの不安定な状況解消は、光ファイバーとの平等性から行政対応で。

市長

学校のテレビの地上デジタル化は学習効果が実証されているが、当市の学校1、2台という考えは、教育格差につながる。

後山、辻又は調査対応する。学校耐震化をデジタル化より優先に取組んだ。

「希望溢れて伸びるまち」づくりを問う

答 あらゆる手段で、信念に基づいて



山田 勝 議員

政治経済が変わり、社会情勢が激変している現在において国民市民の価値基準の個性化が進み、結果個の分散化が進んだ。

地方分権が進み、今後

地方自治体の権限と責任は一層拡大していく。行政、議会が能力を持ち、多様化し分散化した市民が主体的に参加することでまちとしての総合能力を向上させることができ、結果として住民福祉も向上するはず。

①市民、市議会、行政の役割と責任は。

②市民への信頼の基としての正しい情報の伝達

市長

①行政主導型から住民参加型がクローズアップされてきた。市民も批判だけでなく、自らの責任の中で協働を。議会は行政と車の両輪。つかず離れず、市民要望の実現を。どの施策も市民全員

一致の賛同は得られない。行政として結果責任を負いながら、民主主義の原則と信念に基づいて決断し実行する。

②正しい情報を伝えることは、行政執行上と市民信頼を得る点で大変重要な問題だ。

あらゆる手段を用い正しい情報を伝えていく。



六日町駅前商店街

雨天時や冬期間の 子どもの遊び場を

答 今後の課題として検討



牧野 晶 議員

過去に何回も同様の質問をしてきたが、市には雨天時や冬期間に子どもが遊べる施設がなく、整備を望む子育て世代から

の要望が強い。どのよう
に考えているのか。

市長

子育て世代から要望が
高いことは知っている。
今後の課題として検討
したい。

市民を二分するな

牧野

①野球場の設置や新市建
設計画の実施は、様々
な意見を聞いて市の進
むべき方向、落とし所

を考えながら市民を二
分しないように進めて
いくのも市長の務めで
あると考えている。

しかし、野球場問題
では市民を二分してい
るようにも感じられる
が。

②BCリーグや高校野球
ではなく、少年野球利
用者を一番の対象とし
た過大な予算のから
ない改修も検討すべ
きだ。

市長

①建設の方向が出た場合
にはきちんと反対の方
に説明する。建設しな
いと決めた場合には要
望している方々に説明
をする。
②今後、検討委員会の答
申どおりだといくらか
また、それに加える部
分や余分な部分がある
場合はどうなるのか。
このことをきちんと出
してから判断、説明を
していく。



長岡市の子育て支援施設「てくてく」

3子目以降の保育料 負担軽減の拡充は

答 国の子育て交付金の
行方を見て検討



塩谷 寿雄 議員

上の子が小学校以上に
いる時に、3番目以降の
子どもは通常保育料の2
割軽減になっているが、
もう少し軽減できないか。

市長

保育料の軽減のニーズ
が強いことは把握してい
るが、今すぐは予算等の
都合もありできない。来
年度以降の国の子育て交
付金の行方を見て検討し
たい。

**今後のスキー産業の
取り組みについて**

塩谷

①スキーの日本発祥から
100年目の節目、市

として何か特別なこと
を考えているか。

②昭和60年代の小学校5
年生の平均体力に比べ、
現代の子どもたちの体
力は下がっている。子
どもの体力づくりの一
環として冬のスキー授
業を多く取り入れても
らうために、県全体の
学校にスキー授業を取
り入れて頂けるようア
ピールしては。

市長

①関係団体と協力してチ

ケットの割引や無料ス
クール、各種イベント
を考えている。市と県
とでスキーに関わる予
算を付けている。また、
特別企画商品や首都圏
またはアジア・欧米か
らの誘
客に向
けてア
ピール
をして
いき
きた
いと考
えてい

る。

②教育長と協議したいと
思う。

県にもアルペン事業
を取り入れるよう要望
している。



レルヒさんと加藤清史郎くん

今後の 財政健全化計画は

答 財政運営方針を策定公開する



黒滝 松男 議員

財政健全化計画は平成18年度から22年度までの5カ年計画71億円に対し、約75億8千万円が見込まれる。終了後の方針は市

民福祉の向上に必要な財源を確保するため、抑制・削減は引き続き努力し踏襲していくとある。
大原運動公園、図書館等多大な投資が予定され、いま多くの市民が今後市の財政状況を心配し、関心を持っている。
そこで、必要な投資は実施し、抑制・削減は当然行い市債、各基金、実質公債費比率の推移等、新たな計画が求められているが。

民生委員・児童委員について

黒滝

市全体で143名の民生委員・児童委員が今年の11月をもって改選となる。高齢化社会を迎え、大変重要な仕事をされて

市長

財政健全化のメドはついたので、3年から5年間の財政運営方針を策定し市民へ示す。

いるが、活動の内容は。また県の選任要領で、

新任は原則として65歳未満とし事情によりやむを得ない場合は認めるとあるが、定数割れにならないよう年齢を引き上げるべきと考えるが。

市長

少子高齢化社会を迎え地域に無くてはならない組織である。
また、年齢の引き上げは県と協議し検討する。

これ以上、 大型店はいらぬ

答 出店の是非は「富士の白雪」



岩野 松 議員

市民会館駐車場に「ウオロク」出店の話がある。もともと六日町中学校跡地で町民からの強い要望で造られた文化施設であ

る。今の中心商店街は六日町市民の胃袋や生活用品を支えてきた。その後、大型店規制緩和で、大型店出店に翻弄され、大変疲弊している。また、大型店はこれ以上いらぬ。ここを「兼続通り商店街」として再出発をし、再生を図ろうとしている芽を摘んでほしくない。ウオロク出店になれば、市民会館のイベントと重なる。交通渋滞などで大変になる。地元商店にも市

内の商店にも影響を及ぼす。貸すべきでない。

市長

会館への理念は変わっていない。排除だけでなく、賃料2〜3千万円を活用して活性化を図るとか、ウオロクとの共同戦線で生き残る考え方もある。貸せる貸せないは富士の白雪の状況である。

国保は福祉の 最後の砦

岩野

国保料は高いと思うがどうか。国庫補助増額や一般会計から繰り入れも必要。独自減免の対応は。

市長

安いと思っていない。国へは言うが、国として際限なしはない。一般会計繰り入れは可能性を含め考えたい。減免はまず所得申告をお願いする。



市民会館駐車場



国指定文化財「坂戸城跡」の整備・保護・活用は

答 財政とのバランスに考慮しながら



樋口和人 議員

「坂戸城跡」については、地元の重要な史跡を保護する目的で、昭和54年3月に文化庁より史跡名勝天然記念物「坂戸城

跡」として指定を受けているが、そのほとんどが民地であり、大切な遺構を保全していくのには不適切だと考える。この際、文化財として指定を受けている土地について、早急に公有化を図り、あわせて六日町当局に策定された「坂戸城跡環境整備基本計画」についても、現状に合った計画への見直しと、それに伴った適切な整備と保護と観光資源としての大いなる活用

を図るべきと考えるが、所見を。
教育長 遺構部分の公有化については、文化財を守る観点からも進めていきたいが、財政が伴うことなのでバランスに考慮しながら進めていきたい。
「坂戸城跡環境整備基本計画」についても、この計画によっては植栽等観光資源としての整備も行いやすくなると考えている。その意味からも鋭

意進めていきたい。



地球温暖化対策につながる紙(ペーパー)削減を

答 提出書類の削減に努力する



井上智明 議員

地球温暖化対策として紙資源の保護活動が行われているが、次の2点について伺う。
①請負工事関係の管理書

類の削減について
合併前に比べ請負工事の管理書類が極端に増えている。国交省や県と比べても、むしろ市発注の工事の方が多。特に少額の工事については材料承認や写真等、提出書類の削減をしてはどうか。
②役所提出書類の簡略化について
役所に提出する書類は一般の方々にとって理解が難しいものが多

い。特に国や県がかかわるものは独特の言い回し等により、特に難しいものが多い。せっかくの良い制度も住民の使い勝手が悪くてはその実は上がらない。申請手続きの簡略化についての考えは。
①検査については一定の基準により公平に行っている。最低限完成品の精度を示す書類は必要だ。中身を精査し、

削減できるものは削減の方向で努力したい。
②市の単独事業については簡略化に現在取り組んでいるが、国県が係るものは難しい。これからの積極的に国県に働きかけをしていく。



公共工事現場

野球場予算案の 説明責任果たせ

答 基本設計予算通過前の
説明考えす



中沢 俊一 議員

市長も議員も任期中の政策判断全てを、市民に任されたわけではない。公式野球場建設のように、市民の理解が得られ難い

事業は、市民目線を取り入れ、当市に人やお金が入る政策に替えるべきだ

市長

5年前に知事が提案した「療養型滞在観光」への投資などは極めて有効だ

当市の借金返済年額は、

これは同規模の平均的な

財務内容の市に比べ年間

30億円も多い。国が将来

市町村への予算を絞れば、

自治体間の競争に敗れる。

市民に十分な説明をせよ。

市の借金返済年額が多

額なのは、水道や広域事務組合など過去の特殊事情による面が多い。建設を通して子ども達に夢を与えることは大切だ。惑星探査機・はやぶさの例に、大いに学ぶべきだ。

いわれる支持率や世論調査等にほんろうされる

「人民による政治」には

問題が多く首肯できない。

野球場基本設計予算は

大まかな形状や建設費を示すための参考のもので、これが通る9月議会前に説明に努める予定はない。

地元業者保護を

答 前向きに考える



鈴木 一 議員

① 地元設計事務所が受注した物件を市外設計事務所へ丸投げのような状態で下請に出しているが、市長の思いとは

別の方向へ行っている。

今後下請は地元へ出すべきと思うし、1社で

できないものは地元とのJV（共同企業体）

を組ませるなどの方法をとるべきと考えるが、

市長の考えを問う。

② 認定こども園の入札までの経緯で、当初の予定額と実施設計額が大きいのはなぜか。また、

施工者へ押し付けて追加工事の出ないよう願

いたい。

市長

① 一括再委託は市でも禁止しているので、丸投げとは考えていない。

設計事務所のランク付けについては、県もしていないので、独自の

ランク付けは考えていない。

大規模なものは地元と市外業者JVもあるが、一定規模のものは

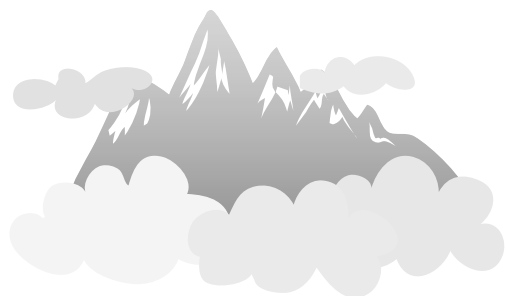
地元単体と考えている。丸投げのような事例があれば指摘願いたい。

また、綿密な調査をして地元でできるものは地元というのが基本だ。

② ユニークな設計と地元杉の使用で価格が上昇した。コンペ参加業者も全て同額の予算規模であった。施工業者へは確認と違った状況が発生したら申し出てほしいと伝えた。立派な施設にしたい。



シドニーのオペラハウス



ウオロク出店 申し出は断るべき

答 市の活性化に寄与するかを
考えて決定していく



笠原喜一郎 議員

（株）ウオロクが「市民会館駐車場に出店したい」との申し出が市長にあった。商圈が拡大していない中、仮に出店となれば

競争激化によって六日町商店街だけでなく広い地域で影響を受け、更なる消費者弱者を生むことになる。まちづくり会社の経営内容や、駐車台数など考えると市民会館との共存にも無理がある。申し出を断るべきと思うが、

市長

出店が市のためになる、活性化に寄与することがなければ、来て下さいということにはならない。その辺を判断材料にして

地元杉材の利用促進 に市独自の支援を

笠原

県は県産材杉製品を使用して住宅を建てた場合、30万円を助成している。それでも県産材の利用は20%ぐらいである。しかも、地元杉材の割合など微々たるものである。利用の進まない理由は高上がりになるからである。

市長

価格差を埋める支援があれば地元材の活用も進む。地球温暖化、雇用の創出の面からも市独自の支援策を講じるべきである。



市民会館駐車場

使い切り予算の見直しで 財政健全化を

答 制度の弊害は認め、
健全化に取り組む



桑原圭美 議員

①公債費負担適正化計画の進捗状況と今後の見直しはどうか。
②使い切り予算（単年度主義）を見直し、市役

所内部で経費削減を検討できるか。

③余らせた予算を基金として積立て、運用する等の検討ができるか。

④建設事業が平成28年度以降は現状の半分の計画だ。予算の増額は検討できるか

市長

①順調に進捗していると認識している。目標達成に向けて努力していく。

②確かに弊害がある。予

算の執行率が低いと翌年度予算に影響があつたが、現在は減額補正も可能になっている。

提言を取り入れながら財政の健全化に努めていきたい。

③有効な運用に努めている。議会と相談しながら、福祉・教育目的の基金の創設は可能。

④建設業界には非常に厳しい計画だ。当然、状況次第に必要な事業は行う。

歴史博物館の 創設を

桑原

市内には興味深い多くの重要な史実がある。これを生かしていくためにも、歴史博物館の創設で今泉博物館の観光活用を。

市長

地元には凄い資料がたくさんある。文化交流観光拠点として、実現すれば素晴らしいと考える。



台湾228記念博物館

政務調査費について

●平成21年度 (H21.4～H21.10)

(単位:円)

会派名 (人数)	交付額	調査研究費	資料費	広報費	事務費	計	内 容
こぶし会 (8人)	280,000	285,933				285,933	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年4月6日 新潟県庁 8人参加 ほくほく線・北越急行の経営状況及び北陸新幹線開通の影響 ●平成21年7月7日 新潟県庁 8人参加 4月6日に引き続き、ほくほく線の勉強会・副知事と面会 ●平成21年7月2日～3日 埼玉県鶴ヶ島市・所沢市・東京都板橋区大山商店街視察 8人参加
南政クラブ (7人)	245,000	368,650				368,650	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年6月22日～24日 徳島県勝浦町 5人参加 JAとくしま「あいさい広場」・ふれあいの里「さかもと」 仁淀川流域エネルギー自給システムの構築
つつじクラブ (4人)	140,000	197,189				197,189	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年6月22日～24日 徳島県勝浦町 3人参加 JAとくしま「あいさい広場」・ふれあいの里「さかもと」 仁淀川流域エネルギー自給システムの構築
市民クラブ (4人)	140,000	18,300		166,010		184,310	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年5月19日～20日 富山県氷見市・富山市 4人参加 氷見市「はじめませんか氷見のくらし」事業、 「氷見市民病院の公設民営化のメリット」 富山市「公募提案型協同事業の取り組み」、 富山市民病院「地域医療市民病院としての、ふれあい地域支援センター事業と地域医療機関連携の取り組み」 ●平成21年7月18日 群馬県富士見村・昭和村・みなかみ町 4人参加 富士見村:「EDS研究所」木材の有効活用のための乾燥システムなど
政策集団 かたくり (3人)	105,000	85,580	25,200			110,780	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年7月1日 山形県最上町 2人参加 最上町役場・間伐の現場・間伐材処理工場・間伐材チップの活用実態 ●平成21年7月2日 山形県舟形町 2人参加 舟形町 地下水熱交換技術の融雪への応用実態等 ●平成21年7月17日 第一法規公会計セミナー 2人参加 長野県松本市 ●平成21年7月18日 群馬県富士見村・昭和村・みなかみ町 2人参加 市民クラブとの合同視察 ●図書購入1冊
共産党議員団 (2人)	70,000			60,000	13,104	73,104	<ul style="list-style-type: none"> ●議会報告印刷代 ●紙代
無会派 (今井久美) (1人)	35,000	24,492	14,600			39,092	<ul style="list-style-type: none"> ●平成21年7月2日～3日 埼玉県鶴ヶ島市・所沢市・東京都板橋区大山商店街視察 ●図書購入5冊
計 29人	1,015,000	980,144	39,800	226,010	13,104	1,259,058	

※無会派1名 政務調査費請求なし

●平成21年度 (H21.11～H22.3)

(単位:円)

会派名 (人数)	交付額	調査研究費	資料費	広報費	事務費	計	内 容
南魚みらい クラブ (8人)	200,000	205,300				205,300	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年2月25日～26日 総務省・内閣府・東京都板橋区「大山商店街」 8人参加 総務省・内閣府「地方分権の現状と課題」「国政と基礎的自治体とのかわりについて」 大山商店街「大山商店街における南魚沼市アンテナショップの現状と課題」
歩む会 (6人)	150,000	50,700		108,753		159,453	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年1月13日 新潟県庁 6人参加 「健康ビジネス連峰」「基幹病院」 ●会派広報発行
市政クラブ (5人)	125,000	123,237	2,040			125,277	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年1月21日～22日 東京都多摩市・埼玉県所沢市 5人参加 多摩市:「多摩市自治基本条例」について 所沢市:「議会改革(議会基本条例)」について ●図書購入2冊
市民クラブ (3人)	75,000			165,973		165,973	<ul style="list-style-type: none"> ●広報(第6号)印刷・新聞折込料 平成22年3月30日発行
かたくり (2人)	50,000	54,580				54,580	<ul style="list-style-type: none"> ●平成22年2月1日～2日 第12期自治政策特別講座 1人参加 東京都
共産党議員団 (2人)	50,000			49,400	9,828	59,228	<ul style="list-style-type: none"> ●議会報告印刷代 ●紙代
計 26人	650,000	433,817	2,040	324,126	9,828	769,811	

総務文教委員会

○期日 4月27日

○調査内容

①坂戸城跡について(含 現地調査)

平成35年度までの計画年度で整備中。28年度までに城主館跡と実城の石垣整備を予定。国の財政難により補助対象が、市が管理団体となるか、公有化するか、いずれかを求められることに。(土地所有者が300名を超え不在地主も多く全員の同意を得ることは難しいため)管理団体化は難しく公有化(80%補助)の方向を採り、御館部分の土地を優先所得し、続く年度で石垣整備工事を進めます。

②中学生海外派遣事業について

20年度からスタート。市内中学生3年生を対象とし、米国オレゴン州ユージーン市への派遣を行なっており成果をあげています。今夏の派遣(8月17日から24日予定)で3回目となります。

③防災計画について

現在、市の洪水ハザードマップ(2日間雨量2百40ミリ、昭和56年洪水の約1・1倍の氾濫を想定)浸水範囲と水深を示し避難対策を準備する)の内、魚野川、三國川流域については作成配布が終了。

水無川流域も作成が終了し本年度中に配布予定。土砂災害マップも同様。

④図書館整備検討委員会について

市長の諮問機関として委員長以下16名の委員により検討会を重ねる基本構想の策定完了後6月以降に市長への答申を予定。
注/6月29日、13回の会議を経て基本構想を答申。現在、市によるパブリックコメント中。

この他、大原運動公園整備検討の状況と、今年度税制改正に伴う改正点について調査しました。



坂戸城跡視察

《前号の訂正》

前号の総務文教委員会の報告で、天人博の入場割合に誤りがありました。次のとおり訂正しお詫び申し上げます。

大人団体	56・9%
大人一般	39・6%
小人	3・5%

産業建設委員会

○期日 4月20日(第1回目)

○調査内容

①街づくり株式会社現状について

「ラフ」は平成8年の開業ですが他の大型店との競合等が課題です。より詳細な経営資料提供を改めて申し入れました。

②株式会社ウオロクの店舗出店申込みについて

最大の懸念として市内商店への影響が挙げられ、次の課題として、市民会館でのイベント時の駐車場減少が挙げられました。

○期日 5月11日(第2回目)

○調査内容

①(上水道)遠隔監視システムの現状について(含 現地調査)

②六日町浄化センター(下水道)の現状と将来性について

③スキー場の入込み状況について(含 現地調査)

入込み客数がピーク時の1/3にまで落ち込んでいる、市内スキー場の現況は深刻さを増しています。

④(水稲)戸別所得補償モデル事業

の取り組み状況について

○期日 5月28日(第3回目)

○調査内容

①株式会社ウオロクの店舗出店申込みについて

「ウオロク」開発部特任部長の参考人出席を求め、調査を行いました。

「高齢化社会を迎える中心市街地での「困った時のウオロク」を目指す」という特任部長の意気込みに対し、「ラフ」を始めとする市内小売店との競合や、新規雇用と失業との得失。更には、市民会館駐車スペースへの影響等が活発に話し合われました。



スキー場の現状について説明を受ける(石打丸山観光協会)

社会厚生委員会

○期日 4月28日

○調査内容

①高齢者福祉施設について

(含 現地調査)

・特別養護老人ホーム「こころの杜」

平成19年開設。苗場福祉会運営。居住空間は各ユニット10人。定員80人。ショートステイ10人。

・養護老人ホーム「魚沼荘」

昭和31年開設(昭和53年全面改築)。定員70人(湯沢町6人、魚沼市2人、十日町市1人、市内61人)。平成27年までに改築予定。

・介護保険施設入所待機者400名くらいです。

②地下水対策について

(含 現地調査)

地熱利用システム(西泉田地区)の実証実験(国交省1/2補助)が市所有の市営住宅集会所(屋根面積96㎡)と駐車場(24㎡)で行われました。地下水消雪に変え、地下水熱融雪システムの設備を設置し、融雪状況の調査データ取りが行われました。異常豪雪時はヒ

ートポンプにより採熱をして消雪がされました。

③次世代育成支援行動計画(後期計画)について

前期計画(H17~21)の理念「生まれてくれてありがとう、育ててくれてありがとうのまちづくり」を引き継ぐ中、後期計画(H22~26)では、「すべての子どもと家庭への支援」というテーマを掲げ、次代の親となる子どもたちの支援のみならず、結婚、出産、子育てまで安全で安心して生活できる環境と地域社会全体で子育て支援のネットワーク作りをしていきます。

④その他

・有害鳥獣対策について
・女性特有がん検診(クーポン券)受診率について



地下水熱融雪システム視察

大原運動公園整備・図書館整備各検討委員会の答申が出ました

…議会へは9月議会ですまず関連予算が出ます…

大原運動公園整備

検討委員会(答申の概要)

【野球場】

・県内市町村初の両翼100m規模
・内野グラウンド形状は甲子園と同一
・観覧席下に屋内練習場を設置

・収容4千~5千(うち椅子席2千)

・利用想定:市民・団体の大会、練習(大会誘致:BCリーグ、高校野球の予選会等)

【多目的グラウンド】

・少年サッカー2面(一般コート1面も可)

・少年野球1面

・陸上のサーキットコース

【クラブハウス】

・屋根付き休憩施設(オープン構造)

・管理棟 現在位置で利用

【公園整備】

・芝生広場・森林広場・駐車場、道路整備

【その他】

・施設の維持管理費の補てんになるようネーミングライツ(施設命名権)やスポンサーなど制度や仕組みづくりを考える

図書館整備

検討委員会(答申の概要)

【建設位置】

交通の便に恵まれ、小、中、高校生が利用しやすい場所、十分な駐車スペース確保と周辺環境に配慮した場所

【図書館の規模】

延べ床面積3千㎡程度。親しみやすい外観と出来るだけオープンスペースで地場産木材を使用。

【機能】

蔵書は、図書館と塩沢、大和の図書室合計で開架図書20万冊、閉架図書10万冊とする。オープン時に開架図書15万冊を整備し、その後5年間で20万冊とする。

【利用スペース】

閲覧席は一般100席、学習用20席、幼児・児童閲覧用30席、新聞閲覧用10席、視聴覚閲覧用のブース、パソコン・インターネット利用10席など。

市は、更にパブリックコメント等を参考にしながら具体的計画を検討します。9月議会です基本設計費として関連予算が出される予定です。

※これら概要はたいへん簡略化してありますので、詳しくはホームページ等をご覧ください。

桑原圭美	林茂男	鈴木一雄	塩谷寿実	小澤実	黒滝松男	中沢一博	山田勝	今井久美	牧野晶	佐藤剛	寺口彦	関常幸	井上智明	樋口和人	関昭夫	腰越晃	阿部俊夫	阿部久夫	牛木芳雄	笠原喜一郎	中沢俊一	岩野雅夫	岡村夫	若井達男	松原良道	
歩	歩	歩	歩	み	み	み	政	政	歩	民	民	み	み	み	政	政	政	歩	民	か	か	共	共	み	み	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

その他全会一致で可決した議案

【第1回臨時会】

- ・病院事業管理者の設置に伴う関係条例の整理について（病院会計の企業会計全部適用に伴う条例整理）

【6月議会】

- ・南魚沼市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ・南魚沼市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
（以上の2議案は人事院規則改正を受け条例改正）
- ・南魚沼市学校給食センター条例の一部改正について（塩沢給食センターを条例追加）
- ・市道の認定について
- ・人権擁護委員の候補者の推薦について（塩野谷スイ氏を同意）
- ・財産の取得について
ロータリ除雪車2.2m級 1台
ロータリ除雪車2.6m級 1台
ロータリ除雪車1.5m級 1台

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	※	×	
×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※	○

×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

斎 場



斎場は9月から供用開始

塩沢給食センター



2学期から塩沢中学校、塩沢および栃窪小学校の給食を作ります

【会派名称】

- 歩：歩む会
- み：南魚みらいクラブ
- 政：市政クラブ
- 民：市民クラブ
- か：かたくり
- 共：日本共産党議員団

第1回臨時会(5/25)・6月議会全議決結果

表中の記号について ○=賛成 ×=反対 -=欠席 (※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

議員氏名 (議席順)	
会派	
採決結果	

◎議案【第1回臨時会】

専決処分した事件の承認について (平成21年度南魚沼市一般会計補正予算 (第7号)) 決算見込みにより4億1,439万4千円追加補正	承認
専決処分した事件の承認について (平成21年度南魚沼市下水道特別会計補正予算 (第4号)) 決算見込みによる減額補正	承認
専決処分した事件の承認について (南魚沼市税条例の一部改正について) 地方税法改正に伴う改正	承認
専決処分した事件の承認について (南魚沼市都市計画税条例の一部改正について) 地方税法改正に伴う改正	承認
専決処分した事件の承認について (南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について) 地方税法改正に伴う改正 国税税限度額の変更、非自発的失業者の対応など	承認
南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について 平成22年度の税率改正に伴う改正 一人当たり賦課額は9.47%アップ	可決
平成22年度南魚沼市一般会計補正予算 (第1号) 住宅リフォーム事業補助のため5,000万円追加補正	可決
平成22年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) 基金繰入金を1億5,000万円追加	可決
工事請負変更契約の締結について (五十沢地区統合小学校建設 (建築) 工事) 1,473万8,850円追加の契約変更 (総額6億7,518万8,850円になります)	可決

◎議案【6月議会】

平成22年度南魚沼市一般会計補正予算 (第2号) 1億6,752万3千円追加補正 (2ページをご覧ください)	可決
平成22年度南魚沼市水道事業会計補正予算 (第1号) 一般会計繰入金198万5千円減額	可決
南魚沼市斎場の指定管理者の指定について 指定管理者 (株)飛鳥 H22.9.1~H25.3.31まで	可決
工事請負契約の締結について (南魚沼市消防庁舎建設 (建築) 工事) 契約金額5億5,965万円 高橋・島田・森下特定共同企業体	可決
工事請負契約の締結について (浦佐こども園建設 (建築) 工事) 契約金額3億6,844万5千円 井口・島田・桐生特定共同企業体	可決
負担付き寄附の受け入れについて 2ページをご覧ください	可決

◎請願・陳情

30人以下学級の実現、教育職員の人材確保、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願 (請願者:新潟県教職員組合 南魚沼支部 執行委員長 山岸健) (紹介議員:牛木芳雄)	不採択
備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める請願 (請願者:農民運動新潟県連合会 代表 今井健) (紹介議員:岩野松)	採択

◎議員発議案

30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について (提出者:牛木芳雄)	可決
備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書の提出について (提出者:岩野松)	可決
国道17号六日町バイパス及び浦佐バイパスの事業費増額を求める意見書の提出について (提出者:井上智明)	可決

大原運動公園整備の議会提案に備え 県内の体育施設を見学



大原運動公園 万条球場

大原運動公園整備については、公募委員を含む検討委員会で検討を重ねてきましたが、5月27日に答申が市長に提出されました（P17参照）。
この答申を参考に、市は9月議会に基本設計費を計上し、具体案提示に向け準備をする予定です。
今後の具体案の参考にするため、県内の野球場を含む運動施設（13箇所）の調査が6月24・25日に行われました。
議会もこの機会に、有志希望者が同行し、議会提案された時に備えて、規模、設備、使用状況等の現状を議員個人の目で見てきました。（下の写真はその一部です）

全国市議会議長会より 表彰を受けました

- 峠 佳一** 前議長（正副議長4年以上）
- 松原 良道** 議員（市議会議員在職10年以上）



峠 佳一 前議長

松原 良道 議員



魚沼市 広神野球場



新井運動公園サッカー場



三條機械スタジアム



十日町市 笹山野球場



柏崎市 佐藤池野球場



十日町市 陸上競技場

編集後記

ひとつでも多くの議会の情報を、市民に提供するのが議会広報編集特別委員会の仕事だと思いましたが、これがなかなか難しい。
わかりやすい記事の編集をして、読みやすく見やすい紙面にしないと読んでもらえない。限られたスペースにどれだけの内容を入れるかという課題もあります。
しかし、各委員は広報を担当し多くの情報に接することで、あらためて客観的に市政と議会を検証することができます。これはとても良い勉強になると思います。
今後の議会の広報活動に活かしていくためにも、多くの市民の皆様にも「議会だより」を読んで頂き、より市民に身近な議会となるよう、ご意見・ご感想、ご提言等を頂くことを期待しています。

編集委員 腰越 晃



9月議会 予告

9月上旬を予定しています。
…詳細は議会事務局へ
(☎ 773-6650)

委員長	佐藤剛
副委員長	小澤美実
委員	桑原圭
委員	林茂
委員	黒滝松
委員	腰越晃
委員	中野俊
委員	岩野松

議会広報編集特別委員